



失敗から学ぶ

校長 佐藤 哲洋

2学期があと3週間足らずで、また、2023年もあと1か月足らずで終了します。残り少ない2学期、2023年を充実した日々にするために、1日、1時間、1分、1秒を大切に生活していきましょう。

さて、私は先月、宮城県の仙台育英高校の硬式野球部監督である須江航（すえ わたる）さんの講演を聴く機会を得ました。コロナ禍で夏の全国大会が中止になった時期を乗り越え、2022年夏の全国高校野球選手権大会で仙台育英高校を東北勢初全国制覇に導いた方です。その優勝インタビューで語った「青春ってすごく密なんです」という言葉はとても印象的でした。今日は、須江監督のお話から、私が皆さんに伝えたいと思ったことをお話しします。

演題は「失敗から学ぶ」でした。須江監督が高校生を指導していて感じることは「最近の若者は、失敗を恐れる傾向があり、見極めが早い」ということだそうです。物事はすべてうまくいくわけではなく、すぐにはよい結果が出ないこともあります。そのうまくいかないことや失敗に対して、知恵と工夫で解決していこうとすることが大切だと話していました。また、「知恵と工夫」とは「根気と粘り強さ」から生まれてくるものだとも話していました。誰しも、失敗することは嫌です。失敗したくないから、準備したり、一生懸命に練習したりするのです。失敗を繰り返してそれを克服しようとすることから学ぶことは多いと思います。だからこそ、目標をもって、失敗を恐れず、粘り強く取り組むことは大切です。

2学期の活動を振り返ってみると、一中では、集団としては目標に向かって粘り強く取り組んできたのではないかと思います。矢立祭の運動の部では、行事を成功させようと主体的に準備に取り組み、各種目で勝利を目指して練習に励みました。文化の部でも、より良い合唱を創り上げようと力を合わせて練習に取り組んでいました。先日の悪王子総会では、スローガン「創」のもと、委員会活動の活性化について真剣に話し合いました。生徒会本部を中心に、一体となって活動することができていたように感じます。では、個人としてはどうだったでしょうか？学習への取組、係活動や委員会活動への取組、部活動等への取組等、失敗を恐れず、粘り強く取り組めていましたか？それは、皆さん一人一人が自分を振り返ることで見えてくることだと思います。須江監督は、振り返りについて、「自分がどのように行動してきたかを客観的に振り返る習慣を身に付けることが大切だ」とも話していました。

1つの節目になるこの時期に自分自身を振り返り、物事に粘り強く取り組んでいたか、自分自身を見つめ直していきましょう。今、うまくいっていないことがあっても、失敗から学ぶという姿勢をもって、前向きに進んでいきましょう。2学期の残りの日々でよい締めくくりができ、素晴らしい冬休み、3学期になることを期待します。

【12月全校集会より】

矢立祭 文化の部 スローガン『星』

R5.11.7

♪限られた練習時間の中で、心を一つにして美しい歌声を市民文化会館に響かせました♪



3年1組



3年2組



3年3組



3年4組



3年5組



生徒会引継ぎ式



3年生 学年合唱

1月の行事予定

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| * 12月29日～1月4日：年末年始休業（閉庁） | 11日（木）実力テスト（3年生） |
| 5日（金）3学期始業式 | 13日（土）教育の日（キャリア教育）弁当持参 |
| 7日（日）一中校区「二十歳を祝う集い」 | 15日（月）振替休日 |
| 9日（火）弁当持参 | 18日（木）新入生保護者説明配信開始 |
| 11日（木）県学力診断調査（1・2年生） | 27日（土）市富士山学習発表会 |